

学校だより

温かい里



令和5年12月22日(金) 第317号
 八戸市立八戸小学校(地域密着型推進校)
 発行:地域学校連携協議会広報部会
 学校広報G TEL 0178-43-2820

「5つの誓い」～講演「命の授業」から～

校長 小林 淳



12月5日(火)、創立150周年記念の講演会を実施しました。講師は、腰塚 勇人(こしづか はやと)先生。腰塚先生は、全国各地で様々な年代の方々に前に、人々を励ます講演を2200回以上されています。今回は、「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～」の演題でお話をいただきました。

- 「ドリー夢キラー」ではなく、誰かの「ドリー夢メーカー」に。
- パワーチャージャー、ほっとマン、リスクテイカー、ドリーマン

- 気持ちと体はつながっている。
- 食べ物で体ができ、聞いた言葉で心ができ、話す言葉で未来ができる。
- 命の喜ぶ行動。辛勤。
- 5つの誓い

- ・口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう...
- ・耳は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう...
- ・目は、人のよいところを見るために使おう...
- ・手足は、人を助けるために使おう...
- ・心は、人の痛みがわかるために使おう...



60分間の講演は、珠玉の言葉が溢れていて、1年生から6年生の児童の心に腰塚先生の思いがしっかり届いたようです。また、この講演に参加された保護者と地域学校連携協議会委員の方々の講演後のとても明るい表情が印象的でした。そして、私たち職員も、パワーを与えていただきました。全校児童から感想を預かりました。一部、紹介いたします。

- わたしは、友達のドリー夢メーカーになれるように努力していきたいです。また、家族のドリー夢メーカーにもなっていきたいと思いました。(4年女子)
- ぼくは、ドリー夢キラーとドリー夢メーカーという言葉を知って、ぼくはちょっとだけドリー夢キラーの心があるかもしれないと思いました。これからは、ドリー夢メーカーの心を増やしていこうと思いました。(5年男子)
- 私は、ドリー夢メーカーの意味をよく分かっていませんでした。でも、今日の話聞いて、ドリー夢メーカーという言葉にはいろいろな意味がこめられていて、「助ける」や「支える」、「言葉を行動に表す」など、人々のためにつくす、笑顔になるようなことだと分かりました。私は特に、夢は何があってもいいという言葉が心に残りました。私は、「あなたの夢は何?」と聞かれたら、将来の夢を思い浮かべます。でも、夢は一つではなくいろいろな夢があってもいい、食べたい物、行きたい所、なんでもよい。この言葉を聞いたおかげで、私の一度きりの人生のチャレンジする力や将来の可能性が広がっていくような気がしました。こしちゃんの話の世界に入っていきような話し方、楽しませ方にも感動しました。自分の生き方についても考えたことはあまりなかったです。でも、今日の勉強を通して、命の大切さ、人を傷つけることで生まれてしまうドリー夢キラー。あきらめないということは、人生これからの生活の希望となると、たくさんのことを学ぶことが出来ました。これからは、自分が変わってから相手に変わってもらう、5つのことを大切に相手と向き合っていきたいです。貴重な体験をありがとうございました。(6年女子)

早いもので、令和5年も残すところあとわずか。周年記念事業で大変お世話になった一年、誠にありがとうございました。皆様がよい年をお迎えできますことを、本校職員一同、心よりお祈りいたします。

1月の行事予定をお知らせします!

日付	曜日	学校行事等
1	月	元日
5	金	納入金振替日
8	月	成人の日
15	月	3学期始業式 4時間授業 給食あり
16	火	体位測定(4・5・6年)
17	水	体位測定(1・2・3年)
18	木	委員会なし 5,6年 6時間授業
19	金	ふれあい作品展(学習ルーム1・2)
20	土	ふれあい作品展(学習ルーム1・2)
21	日	ふれあい作品展(学習ルーム1・2)
22	月	JSあいさつ運動(~2/5) ベルマーク収集日 創立150周年記念総務委員会
23	火	全校朝会(校長講話) スクールカウンセラー来校 ふれあいタイム(ありがとう集会組織)
24	水	CRT(国・理)
25	木	CRT(算・社) 委員会活動
26	金	避難訓練(地震・火災)
29	月	読書週間(~2/9)

八戸小創立150周年記念式典を振り返る!

令和5年11月17日(金)に挙行了した「創立記念式典」では、ご来賓や地域の皆様に見守られながら、厳粛な雰囲気の中挙行されました。

子どもたちは、来賓の皆様のお話をしっかりと聞き、八戸小学校の過去と現在、未来を語った「よろこびのうた」では、すばらしい歌声も披露し、感動のあまり目に涙が浮かべる方も数多くいました。

最後の「校歌斉唱」は、150年歌い継がれてきた歴史とこれからの八小の飛躍を感じさせられました。

これからの10年を考えると、私たちの宝である子どもたちに、「八戸小学校が大好き!」と愛され続ける小学校でなくてはならないと改めて感じました。



令和5年度 八戸小学校「学校関係者評価委員会」が行われました。

12月7日(木)地域学校連携協議会員を招いて「学校関係者評価委員会」を開催しました。本校の学校目標「思いやりの心もち たがいに認め合い 学び合う子」の実現に向けた教育活動は適切だったのか?子どもたちに「対話力・思いやり・コミュニケーション力」は身に付いたのか?児童と保護者のアンケート集計、教員の自己評価をもとに話し合いました。

委員の皆さんからは、「創立150周年の記念の年に、児童も親御さんも先生方も学校目標に向かって一生懸命がんばっていました。」とお褒めの言葉をいただきました。皆さんの助言を生かし、創立151年目の八戸小学校の教育活動を進めていきたいと考えています。